

2017年度（平成29年度）10月期入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科
(博士後期課程)

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

平成29年5月

金沢大学大学院人間社会環境研究科

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課人社環研学務係

電話 (076)264-5881 FAX (076)264-5468

学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間社会環境研究科博士後期課程の人材養成目的は、人間社会環境という多分野横断的な研究領域で活躍できる創造性豊かな大学教員、研究者、及び高度専門職業人の育成です。

したがって、研究科が求める学生は、それぞれの伝統的な学問分野における高い専門能力を持つだけでなく、それを基礎に、総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めようとする気概のある人物です。とくに人間社会環境学専攻は、「文化環境」、「社会環境」、及び「人間それ自体」を研究対象とする多様な領域を教育研究するところですから、ここで学ぶ学生には、なによりも他者に対する開かれた態度、異文化を尊重する広い心、それらに対する積極的な興味、未知の現象に対する柔軟な発想、そして論理性への強い志向を備えていることが求められます。

**2017年度（平成29年度）10月期入学
金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士後期課程）**

学 生 募 集 要 項

**一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜**

1. 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員
	一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜
人間社会環境学専攻	若干名

2. 出 願 期 間

- (1) 2017年（平成29年）6月16日（金）から6月22日（木）まで
- (2) 窓口の受付時間は、午前9時から午後5時までです。
- (3) 郵送による場合は、6月22日（木）までに必着とします。ただし、締切日を過ぎて郵送で提出された出願書類のうち、締切日前日6月21日（水）までの発信局（国内に限る）日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

3. 選 考 日 時

区 分	一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜	
期 日	試 験 区 分	時 間
2017年（平成29年） 7月14日（金）	口述試験	午前9時30分～午後5時45分 ※上記時間内で指定する時間（1時間）

※口述試験開始時刻の20分前までに、受験者控室に集合してください。

4. 合 格 者 発 表

2017年（平成29年）7月26日（水） 午前10時頃

本学所定の掲示板（人間社会第1講義棟1階）に発表するとともに、合格者には郵便で通知します。

5. 出 願 資 格

一 般 選 抜

次の①～⑧各号のいずれかに該当する者として。

社 会 人 特 別 選 抜

次の①～⑧各号のいずれかに該当する者であって、かつ、下記(7)(イ)のいずれかを満たす者として。

(7) 官公庁、企業、事務所、団体、学校等に在職中であり、かつ、在職のまま博士後期課程の修了を目指す者

(イ) 修士の学位又は専門職学位を有し、入学時において学位取得後3年を経過している者

外国人留学生特別選抜

次の①～⑧各号のいずれかに該当する者であって、かつ、日本国籍を有しない者として。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2017年(平成29年)9月30日までに取得見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2017年(平成29年)9月30日までに授与見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2017年(平成29年)9月30日までに授与見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2017年(平成29年)9月30日までに授与見込みの者
- ⑤ 国際連合大学(国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2017年(平成29年)9月30日までに授与見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び2017年(平成29年)9月30日までに合格見込みの者で、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年9月1日文部省告示第118号)
大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科が、当該研究の成果等により、本研究科において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2017年(平成29年)9月30日までに24歳に達するもの

2. 出願資格 ⑥, ⑦, ⑧ により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格審査を行いますので、3ページの出願資格審査を参照してください。

※「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度について

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで、人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用について、入学願書の14条特例希望欄に該当する事項を○で囲んでください。

また、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。

参 考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

なお、同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

本研究科は昼夜開講制です。

出願資格審査

出願資格⑥、⑦、⑧により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格の審査を行いますので、事前にお問い合わせのうえ、「6. 出願手続」に示す所定の提出書類（入学検定料振込金証明書を除く。）を2017年（平成29年）6月5日（月）午後5時（必着）までに本学人間社会系事務部学生課人環研学務係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒の表に「出願資格審査関係書類在中」と朱書きしてください。

出願資格審査の結果、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めるときは、この提出された書類を「6. 出願手続」に示す所定の出願書類として受理します。追って連絡する出願資格審査結果が合格の場合、検定料を納入し、出願期間中に入学検定料振込金証明書（大学提出用）を本学人間社会系事務部学生課人環研学務係へ提出してください。

6. 出願手続・出願書類請求

- (1) 募集要項及び出願書類の郵送を希望するときは、郵便切手250円を貼付し、住所、氏名を明記した返信用封筒（角形2号240×332mm）を同封の上、下記送付先まで請求してください。
- (2) 出願について、志願者は、出願受付期間内に、次の書類等を本学人間社会系事務部学生課人環研学務係へ持参又は郵送してください。
- (3) 出願書類を郵送するときは、「書留便」又は「簡易書留便」とし、封筒の表に「博士後期課程入学願書」と朱書してください。

送付先 〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学大学院人間社会環境研究科
(人間社会系事務部学生課人環研学務係)

提出書類等	摘 要
入 学 願 書	<p>本研究科所定の様式によること。 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用（3ページ参照）を申請する者は、14条特例希望の有無欄に該当する事項を○で囲んでください。 改姓されている場合は、改姓後の氏名を記載願います。（旧姓での記載をしないでください。）</p>
写 真	<p>2枚（出願前3か月以内に、上半身、脱帽、正面向き無背景で撮影したものを入学願書及び受験票の所定の欄に貼付してください。）</p>
入 学 検 定 料 振 込 金 証 明 書 （大学提出用） ※ 学内進学者及び国費外国人留学生は入学検定料の納入は不要です。	<p>入学検定料30,000円 銀行振込「電信扱」で納入してください。 〈納入方法〉 本学所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局は不可）の窓口で納入してください。振込手数料は志願者負担となりますが、北陸銀行の本・支店から振り込む場合は、手数料はかかりません。 納入後、取扱金融機関領収印が押されていることを確認し、「振込金証明書(大学提出用)」を入学願書の所定の欄に貼付してください。（銀行領収印がない場合は願書を受理しません。） また、「領収書（本人控）」は大切に保管してください。 （注）1. 金融機関の窓口受付終了時刻までに納入してください。また、土・日・祝日は休業となりますので注意してください。 2. ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願を取りやめた場合は、返還手続を行うことができますので、下記担当まで連絡してください。 なお、返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（大学提出用）」が必要になります。 担当：財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5066</p>
学業成績証明書	<p>(1) 出願資格の①，②，③，④，⑤により出願する者は、出身大学院の研究科長（又は学長等）が作成したもの。 (2) 出願資格⑦により出願する者は、出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの。 (3) 出願資格⑥，⑧により出願する者は、最終学歴の学校長等が作成したもの。（修得科目名及び単位数が記載されているもの）</p>
修 了（見 込） 証 明 書	<p>出身大学の大学院修士課程又は博士前期課程修了（見込み）証明書。 ただし、出願資格の⑥，⑦，⑧に該当する者は、最終学歴の学校長が作成したもの。 なお、本学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修了（見込み）の者は不要です。</p>
出 願 資 格 ⑥ に 関 する 書 類	<p>出願資格⑥により出願を希望する者のみ 出身学長等が作成したもので、下記の内容が記載された文書及び添付書類（外国語の場合は日本語訳を添付してください。） 【記載例】 <input type="checkbox"/>□□大学としては、本学の学生である◇◇ ◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する次の添付資料を同封します。 【添付書類の例】 ・当該審査の合格基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類</p>

提出論文等	(1) 出願資格：①②③④⑤ 上記いずれかの出願資格により出願する者は、修士論文（又は修士論文に代わる論文）の原本若しくはその写しを3部提出してください。
	(2) 出願資格：⑥⑦⑧ 上記いずれかの出願資格により出願する者は、研究論文、大学卒業後の教育・研究機関や地方自治体、企業等における調査研究報告書等又はその写しを3部ずつ提出してください。（共同執筆の場合は、志願者の執筆担当箇所を明示してください。）
	(1)及び(2)ともに、日本語（1,000字程度）又は英語（300ワード程度）による論文の概要を3部添付してください。 なお、すでに公表した研究論文等があれば、研究業績リスト（本学研究科所定の様式による。）にすべてを記載し、かつ、その中で特に主要なものの別刷又はその写しを3部ずつ添付してください。 また、未公表の研究論文等を審査のための参考資料として提出することも可とします。その場合は、提出する参考資料のリスト（様式自由）を作成し、参考資料又はその写しを3部ずつ提出してください。
研究計画書	(1) 本研究科所定の様式によること。 （外国人留学生特別選抜の者は、これまでの研究経過及び本研究科における研究計画等について具体的に記入してください。） (2) 志願者は、出願前に必ず主任指導予定教員の承諾を得てください。
受験承諾書 （社会人特別選抜の方）	在職のまま出願する者は、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。 なお、出願時に提出できない場合は、入学手続き時に承諾書等を提出することとなります。
その他 （外国人留学生特別選抜の方）	外国人の志願者は、次の書類を提出してください。 ○パスポート（本人の氏名、生年月日、性別、入国日及び在留資格部分）をA4に複写したもの。 なお、日本に在留する外国人は、次の書類も併せて提出してください。 ○在留カード（表・裏）写し
あて名票	添付用紙に郵便番号・住所・氏名等必要事項を記入してください。
受験票等送付用封筒	添付の封筒に受信場所・氏名を明記し、郵便切手372円（速達）を貼付けしてください。

- 《注》 1. 証明書等の氏名が入学願書等に記載する氏名と異なる場合（改姓されている場合等）には、改姓等の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
2. 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
3. 出願手続き後の書類の変更、検定料の払戻し、提出書類の返却はしません。
4. 出願書類等に虚偽の記載又は不正な申告があったときは、入学後でも入学を取り消すことがあります。
また、その場合、振り込まれた入学料については返納しません。

7. 受験票の交付

受験票について、平成29年7月6日（木）までに到着しない場合は、本学人間社会系事務部学生課人社環研学務係に問い合わせてください。

8. 障がい等のある方の事前相談

入学志願者で、障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願期間開始前の平成28年6月3日（金）までに次の書類を本学人間社会系事務部学生課人社環研学務係に提出し、相談してください。

(1) 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は自由）

- ・ 氏名，住所，連絡先，志望コース名
- ・ 障がいの種類・程度
- ・ 受験及び修学に配慮を希望する事項
- ・ 大学等で配慮されていた事項
- ・ 日常生活の状況
- ・ その他参考となる事項

(2) 医師の診断書

(3) その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

9. 入学者選抜方法

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

選抜は、口述試験，研究計画書，提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行います。

口述試験 修士論文等（又は概要，研究論文，調査研究報告書等）及び研究計画書を中心に行います。

研究上必要な外国語の能力を問うことがあります。

なお、社会人特別選抜において、研究上必要な外国語能力のほか、社会経験を生かした専門知識を問うことがあります。

また、外国人留学生特別選抜において、研究上必要な場合は、日本語の能力も問うことがあります。

10. 試 験 場

金沢市角間町 金沢大学大学院人間社会環境研究科（詳細は受験票送付時に通知）

11. 入 学 手 続 等

(1) 入学手続

合格者発表後に送付する「平成29年度大学院入学・進学手続要項」により、所定の期日までに入学手続を行ってください。

(2) 授業料等納付金

ア. 入学料 282,000円（予定）

平成29年9月本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

イ. 授業料（前期分） 267,900円（予定） [年額 535,800円（予定）]

《注》 1. 上記の納付金額は予定額であり、入学時または在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 授業料の納入は、預金口座振替（届出口座）から指定日に自動引落により納入する方法）となっています。

3. 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

ウ. 学生教育研究災害傷害保険料 2,600円（3年分）

12. 個人情報の保護

金沢大学では、個人情報保護法及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく身上書等の書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 修了生に対する学習効果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会活動への支援等に関する業務
- (8) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

13. 参 考 資 料

入学年度	人間社会環境学専攻		
	入学志願者数	合格者数	入学者数
24年度（4月期）	11	10	10
24年度（10月期）	6	6	6
25年度（4月期）	19	14	14
25年度（10月期）	3	3	3
26年度（4月期）	24	13	13
26年度（10月期）	4	2	2
27年度（4月期）	19	14	13
27年度（10月期）	2	2	2
28年度（4月期）	25	15	14
28年度（10月期）	3	2	2
29年度（4月期）	25	17	15

長期履修

■ 仕事や育児などを続けながら履修できます。

人間社会環境研究科では、仕事あるいは家事、育児、介護等に従事している人たちのために、長期履修制度を設けています。この制度を利用すれば、学則に規定される在学年限の範囲内（原則として博士後期課程6年）で、長期履修期間を設定することができます。これによって、社会人の方のさまざまな学習需要に対応し、多様で柔軟な学習機会を提供します。

なお、授業料は修業年限分（博士後期課程は3年）を履修期間に分けて納めます。

14. 金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学は外国人留学生を対象として奨学金制度を設けています。

詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/e/abroad/scholarship.html>

15. 自然災害により被災された受験生の皆さまへ

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学のを確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学Webサイトをご覧ください。

金沢大学（入試情報）Webサイト：<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

人間社会環境学専攻

授業科目及び担当教員

■人文学コース

現代思想研究Ⅰ・Ⅱ	山本 英輔
現代思想演習Ⅰ・Ⅱ	山本 英輔
比較思想文化論Ⅰ・Ⅱ	三浦 要
比較思想文化論演習Ⅰ・Ⅱ	三浦 要
人間行動発生論Ⅰ・Ⅱ	小島 治幸
人間行動発生論演習Ⅰ・Ⅱ	小島 治幸
学習行動論Ⅰ・Ⅱ	谷内 通
学習行動論演習Ⅰ・Ⅱ	谷内 通
人格・発達論Ⅰ・Ⅱ	岡田 努
人格・発達論演習Ⅰ・Ⅱ	岡田 努
発達障害評価・支援論Ⅰ・Ⅱ	吉川 一義
発達障害評価・支援論演習Ⅰ・Ⅱ	吉川 一義
コミュニケーション支援論Ⅰ・Ⅱ	武居 渡
コミュニケーション支援論演習Ⅰ・Ⅱ	武居 渡
比較社会意識論Ⅰ・Ⅱ	轟 亮
比較社会意識論演習Ⅰ・Ⅱ	轟 亮
社会階層論Ⅰ・Ⅱ	岩本 健良
社会階層論演習Ⅰ・Ⅱ	岩本 健良
共生社会環境論Ⅰ・Ⅱ	南 相璣
共生社会環境論演習Ⅰ・Ⅱ	南 相璣
都市空間論Ⅰ・Ⅱ	神谷 浩夫
都市空間論演習Ⅰ・Ⅱ	神谷 浩夫
社会環境論Ⅰ・Ⅱ	中島 弘二
社会環境論演習Ⅰ・Ⅱ	中島 弘二
歴史認識・社会認識教育論Ⅰ・Ⅱ	村井 淳志
歴史認識・社会認識教育論演習Ⅰ・Ⅱ	村井 淳志
日本中世文化史Ⅰ・Ⅱ	黒田 智
日本中世文化史演習Ⅰ・Ⅱ	黒田 智
日本中世宗教史Ⅰ・Ⅱ	平瀬 直樹
日本中世宗教史演習Ⅰ・Ⅱ	平瀬 直樹
日本近現代都市社会史Ⅰ・Ⅱ	能川 泰治
日本近現代都市社会史演習Ⅰ・Ⅱ	能川 泰治
東アジア国際交流史論Ⅰ・Ⅱ	古畑 徹
東アジア国際交流史論演習Ⅰ・Ⅱ	古畑 徹
アジア社会構造論Ⅰ・Ⅱ	古市 大輔
アジア社会構造論演習Ⅰ・Ⅱ	古市 大輔
地中海社会史論Ⅰ・Ⅱ	根津由喜夫
地中海社会史論演習Ⅰ・Ⅱ	根津由喜夫
ヨーロッパ中近世社会史論Ⅰ・Ⅱ	田中 俊之
ヨーロッパ中近世社会史論演習Ⅰ・Ⅱ	田中 俊之
ヨーロッパ近世史論Ⅰ・Ⅱ	石黒 盛久
ヨーロッパ近世史論演習Ⅰ・Ⅱ	石黒 盛久
東西文化交流史論Ⅰ・Ⅱ	足立 拓朗
東西文化交流史論演習Ⅰ・Ⅱ	足立 拓朗
言語構造類型論Ⅰ・Ⅱ	入江 浩司
言語構造類型論演習Ⅰ・Ⅱ	入江 浩司
言語構造論Ⅰ・Ⅱ	新田 哲夫
言語構造論演習Ⅰ・Ⅱ	新田 哲夫
言語科学論Ⅰ・Ⅱ	堀田 優子

言語科学論演習Ⅰ・Ⅱ	堀田 優子
言語認知科学実験法Ⅰ・Ⅱ	安永 大地
言語認知科学実験演習Ⅰ・Ⅱ	安永 大地
認知コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	竹内 義晴○
認知コミュニケーション論演習Ⅰ・Ⅱ	竹内 義晴○
社会言語論Ⅰ・Ⅱ	西嶋 義憲
社会言語論演習Ⅰ・Ⅱ	西嶋 義憲
日本語構造論Ⅰ・Ⅱ	高山 知明
日本語構造論演習Ⅰ・Ⅱ	高山 知明
日本語動態論Ⅰ・Ⅱ	加藤 和夫
日本語動態論演習Ⅰ・Ⅱ	加藤 和夫
日本語教育方法論Ⅰ・Ⅱ	深澤のぞみ
日本語教育方法論演習Ⅰ・Ⅱ	深澤のぞみ
日本古典言語文化論Ⅰ・Ⅱ	西村 聡
日本古典言語文化論演習Ⅰ・Ⅱ	西村 聡
日本近代言語文化論Ⅰ・Ⅱ	杉山 欣也
日本近代言語文化論演習Ⅰ・Ⅱ	杉山 欣也
中国地域文化論Ⅰ・Ⅱ	岩田 礼○
中国地域文化論演習Ⅰ・Ⅱ	岩田 礼○
アジア文化構造論Ⅰ・Ⅱ	上田 望
アジア文化構造論演習Ⅰ・Ⅱ	上田 望
英米の文化と社会Ⅰ・Ⅱ	高田 茂樹
英米の文化と社会演習Ⅰ・Ⅱ	高田 茂樹
英語圏文学・文化論Ⅰ・Ⅱ	和泉 邦子
英語圏文学・文化論演習Ⅰ・Ⅱ	和泉 邦子
ドイツ言語文化論Ⅰ・Ⅱ	志村 恵
ドイツ言語文化論演習Ⅰ・Ⅱ	志村 恵
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ・Ⅱ	阪上るり子
ヨーロッパ言語文化論演習Ⅰ・Ⅱ	阪上るり子
フランス語圏文化論Ⅰ・Ⅱ	粕谷 雄一
フランス語圏文化論演習Ⅰ・Ⅱ	粕谷 雄一
環境文学論Ⅰ・Ⅱ	結城 正美
環境文学論演習Ⅰ・Ⅱ	結城 正美
西アジア先史文化論Ⅰ・Ⅱ	藤井 純夫
西アジア先史文化論演習Ⅰ・Ⅱ	藤井 純夫
比較先史文化論Ⅰ・Ⅱ	中村 慎一
比較先史文化論演習Ⅰ・Ⅱ	中村 慎一
中南米先史文化論Ⅰ・Ⅱ	中村 誠一
中南米先史文化論演習Ⅰ・Ⅱ	中村 誠一
仏教文化史Ⅰ・Ⅱ	森 雅秀
仏教文化史演習Ⅰ・Ⅱ	森 雅秀
アジア宗教建築史Ⅰ・Ⅱ	矢口 直道
アジア宗教建築史演習Ⅰ・Ⅱ	矢口 直道
文化変化論Ⅰ・Ⅱ	鏡味 治也
文化変化論演習Ⅰ・Ⅱ	鏡味 治也
地域社会変化論Ⅰ・Ⅱ	西本 陽一
地域社会変化論演習Ⅰ・Ⅱ	西本 陽一
美術史学Ⅰ・Ⅱ	菅原 裕文
美術史学演習Ⅰ・Ⅱ	菅原 裕文

※氏名欄右の○は、平成30年3月に退職予定の教員です。

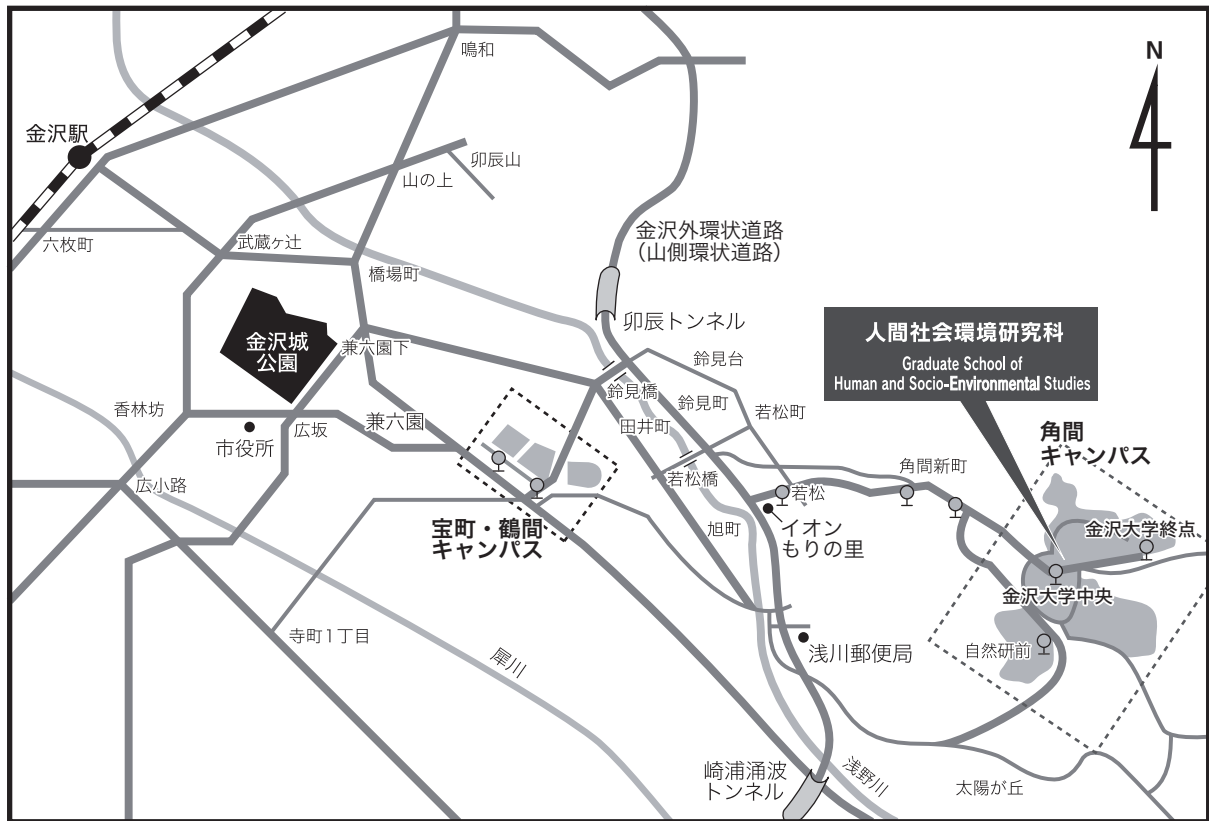
■法学・政治学コース

法理学研究 I・II	足立 英彦
法理学演習 I・II	足立 英彦
東洋法制史研究 I・II	中村 正人
東洋法制史演習 I・II	中村 正人
日本法制史研究 I・II	丸本由美子
日本法制史演習 I・II	丸本由美子
外国法研究 I・II	東川 浩二
外国法演習 I・II	東川 浩二
憲法研究 I・II	山崎 友也
憲法演習 I・II	山崎 友也
行政法研究 I・II	長内 祐樹
行政法演習 I・II	長内 祐樹
税財政法研究 I・II	平川 英子
税財政法演習 I・II	平川 英子
国際法研究 I・II	稲角 光恵
国際法演習 I・II	稲角 光恵
刑法研究 I・II	永井 善之
刑法演習 I・II	永井 善之
刑事訴訟法研究 I・II	大貝 葵
刑事訴訟法演習 I・II	大貝 葵
労働法研究 I・II	名古 道功
労働法演習 I・II	名古 道功
社会保障法研究 I・II	石田 道彦
社会保障法演習 I・II	石田 道彦
民法研究 A I・II	高 秀成
民法演習 A I・II	高 秀成
民法研究 B I・II	合田 篤子
民法演習 B I・II	合田 篤子
民事訴訟法研究 I・II	福本 知行
民事訴訟法演習 I・II	福本 知行
商法研究 A I・II	村上 裕
商法演習 A I・II	村上 裕
商法研究 B I・II	永江 亘
商法演習 B I・II	永江 亘
経済法研究 I・II	
経済法演習 I・II	
国際私法・国際取引法研究 I・II	羽賀由利子
国際私法・国際取引法演習 I・II	羽賀由利子
知的財産法研究 I・II	大友 信秀
知的財産法演習 I・II	大友 信秀
公共政策論研究 I・II	木村 高宏
公共政策論演習 I・II	木村 高宏
政治社会学研究 I・II	西村 茂
政治社会学演習 I・II	西村 茂
政策過程論研究 I・II	河合 晃一
政策過程論演習 I・II	河合 晃一
計量政治学研究 I・II	岡田 浩
計量政治学演習 I・II	岡田 浩
政治思想史研究 I・II	仲正 昌樹
政治思想史演習 I・II	仲正 昌樹
政治コミュニケーション論研究 I・II	山本 竜大
政治コミュニケーション論演習 I・II	山本 竜大
国際政治史研究 I・II	宋 安鍾
国際政治史演習 I・II	宋 安鍾
比較政治学研究 I・II	ビートン・アンドリュウ
比較政治学演習 I・II	ビートン・アンドリュウ

■社会経済学コース

上級ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ	前田 隆
上級ミクロ経済学演習Ⅰ・Ⅱ	前田 隆
上級経済統計学Ⅰ・Ⅱ	星野 伸明
上級経済統計学演習Ⅰ・Ⅱ	星野 伸明
社会経済思想史Ⅰ・Ⅱ	野村 眞理
社会経済思想史演習Ⅰ・Ⅱ	野村 眞理
近現代日本経済史Ⅰ・Ⅱ	小林 信介
近現代日本経済史演習Ⅰ・Ⅱ	小林 信介
西洋社会経済史Ⅰ・Ⅱ	中島 健二
西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ	中島 健二
アジア社会経済史Ⅰ・Ⅱ	弁納 才一
アジア社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ	弁納 才一
経済発展論Ⅰ・Ⅱ	正木 響
経済発展論演習Ⅰ・Ⅱ	正木 響
金融システム論Ⅰ・Ⅱ	加藤 峰弘
金融システム論演習Ⅰ・Ⅱ	加藤 峰弘
国際金融関係論Ⅰ・Ⅱ	佐藤 秀樹
国際金融関係論演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 秀樹
財政学Ⅰ・Ⅱ	碓山 洋
財政学演習Ⅰ・Ⅱ	碓山 洋
自治体財政論Ⅰ・Ⅱ	武田 公子
自治体財政論演習Ⅰ・Ⅱ	武田 公子
地域経済システム論Ⅰ・Ⅱ	佐無田 光
地域経済システム論演習Ⅰ・Ⅱ	佐無田 光
エコロジー経済論Ⅰ・Ⅱ	市原あかね
エコロジー経済論演習Ⅰ・Ⅱ	市原あかね
消費生活経済論Ⅰ・Ⅱ	杉橋やよい
消費生活経済論演習Ⅰ・Ⅱ	杉橋やよい
社会福祉論Ⅰ・Ⅱ	森山 治
社会福祉論演習Ⅰ・Ⅱ	森山 治
福祉・医療社会学Ⅰ・Ⅱ	高橋 涼子
福祉・医療社会学演習Ⅰ・Ⅱ	高橋 涼子
社会システム論Ⅰ・Ⅱ	田邊 浩
社会システム論演習Ⅰ・Ⅱ	田邊 浩
コミュニティ政策論Ⅰ・Ⅱ	眞鍋 知子
コミュニティ政策論演習Ⅰ・Ⅱ	眞鍋 知子
居住環境計画論Ⅰ・Ⅱ	山岸 雅子
居住環境計画論演習Ⅰ・Ⅱ	山岸 雅子
経営情報戦略論Ⅰ・Ⅱ	白石 弘幸
経営情報戦略論演習Ⅰ・Ⅱ	白石 弘幸
経営政策論Ⅰ・Ⅱ	澤田 幹
経営政策論演習Ⅰ・Ⅱ	澤田 幹
経営科学Ⅰ・Ⅱ	寒河江雅彦
経営科学演習Ⅰ・Ⅱ	寒河江雅彦
会計記号システム論Ⅰ・Ⅱ	竹島 貞治
会計記号システム論演習Ⅰ・Ⅱ	竹島 貞治
財務分析論Ⅰ・Ⅱ	佐藤 清和
財務分析論演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 清和
オペレーションズマネジメント論Ⅰ・Ⅱ	柳 在圭
オペレーションズマネジメント論演習Ⅰ・Ⅱ	柳 在圭

金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

【路線バス利用】(北陸鉄道バス利用の場合)

JR金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車、「金沢大学(終点)」下車、徒歩1分(人間社会第1講義棟まで)

※「金沢大学中央」で下車した場合は、徒歩約5分(バス所要時間約40分)

【タクシー利用】

JR金沢駅兼六園口(東口)から約30分

出願書類請求先・照会先

〒920-1192 金沢市^{かくままち}角間町

金沢大学大学院人間社会環境研究科

(人間社会系事務部学生課人社環研学務係)

「相談窓口」 TEL 076(264)5881

FAX 076(264)5468

E-mail n-gakind@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/>